

こんにちは
保健師です



岡本叔子です

二次感染予防
(嘔吐物処理の方法)

ノロウイルスにかかる嘔吐や下痢があり、感染者の症状も心配ですが、そちらに気を取られてウイルスが大量に含まれている嘔吐物や下痢便を放置してしまうと周囲の家族が感染する可能性が出てくるため、嘔吐物等は出来るだけ早く処理しなければなりません。

今回は、二次感染を防ぐために重要な、消毒液の作り方や選び方、嘔吐した際の床掃除、消毒方法についてご紹介します。

■ノロウイルス嘔吐時の消毒液

の作り方

ノロウイルスに効果があるのは次亜塩素酸ナトリウムを含む消毒薬です。エタノールや逆性石鹼はノロウイルスやロタウイルスには効果がありません。

今回は、ご家庭にある塩素系漂白剤のハイターやブリーチ等を使って濃度調節する方法をご紹介します。

【ハイターやブリーチを使う場合の消毒液の作り方】

用途	濃度調節の方法
嘔吐物の処理用 0.1% (1000ppm)	塩素系漂白剤50倍 =水500mlにハイター等を10ml (ペットボトルキャップ2杯弱)
日用品の消毒用 0.02% (200ppm)	塩素系漂白剤250倍 =水500mlにハイター等を2ml (ペットボトルキャップ半分弱)



日用品の消毒用については特に頻繁に使うようになるためスプレー容器に入れておく方が便利です。また、塩素系漂白剤を直接触ると皮膚を傷めるため使い捨てビニール手袋等を使って触るなど、取扱いに注意してください。この消毒液は作り置きせず、使う際に作るのが原則です。

時間が経つと濃度が薄くなってしまうので1〜2週間で使い切るようにしましょう。

また、ハイター等次亜塩素酸ナトリウムは手で直接触れないので取り扱いに注意が必要です。金属を消毒した際に水拭きしないと後で腐食する可能性があるため少々不便です。

【掃除に必要な物】

- マスク
- 使い捨て手袋
- ペーパータオル等
- ※あると便利なもの
- ゴーグル
- 使い捨てエプロン

■ノロウイルス嘔吐時の床掃除方法
嘔吐物を処理する際、処理する人以外は近づかないようにしましょう。(処理中にウイルスを吸い込むと飛沫感染の可能性があります。) 放置すればするほど感染拡大するため、直ぐに処理しなければなりません。

処理の手順については次の通りです。

(1) 嘔吐物等の片付け
嘔吐物や下痢便が飛び散るのを防ぐため、ペーパータオルを嘔吐物等の上からかぶせてから次亜塩素酸ナトリウムをスプレーし、ペーパータオルと一緒に嘔吐物等を静かに包んで取り除きます。

(2) 次亜塩素酸ナトリウムによる消毒
次亜塩素酸ナトリウム(上記「日用品の消毒用」をペーパータオル等に浸して、床の嘔吐物等がついた箇所を中心に拭いて約10分間(消毒したまま)置いておく。その後消毒した床を水拭きします。

(3) 廃棄物の処理
使ったペーパータオル等はビニール袋に入れ、次亜塩素酸ナトリウム(上記「嘔吐物等の消毒用」を加えて廃棄物が十分に浸るようにしてから口を縛って捨てます。

手袋、エプロン、マスクを外し、ビニール袋と一緒に入れます。その際に袋の内側に触れないよう注意してください。

処理後は、しっかり「手洗い」と「うがい」をしましょう。

すべては村びとのために 村びと紹介

No.14

相馬 功一さん
(字中央)

やりたいことが一致 夢が膨らむ林業への道

相馬さんは、札幌出身の31歳で、今年8月に地域おこし協力隊(林業振興室)として村に住み始めた。

相馬さんの夢は、田舎で農業をやりながら冬場は山にこもる、自給自足して暮らしたいと思っていたそうだ。働きながら協力隊やハロワークなどで農業を探していたが、なかなか見つからなかった。30歳になって目的をつけてどうするか考えていた時に、あるテレビ番組が目にとまった。

その番組は芸能人夫婦が、地方へ移り住みちよつと暮らしのような期間限定で生活するもので、ちよつとやっていったのが「林業」だった。チェーンソーの資格をとり山中で木を切る、その木で木工クラフトなどもやっているのを見て、「そういうものがあるんだ」とそこで林業を知った。自分で切り倒した木で何かを作れたら楽しいかもしれないと林業に興味を持ち始め、「やるなら今だ」とその時に勤めていた運送会社を辞



め、協力隊募集サイトを検索した。占冠は林業をめざす協力隊を募集しており、木工クラフトの工房もある。さらに趣味のスノーボードでト

ママに来ていたことなど見事に条件が揃い、この村に応募したのだ。

仕事で役場の村有林調査に同行し、調査の仕方や木の種類、重要な木など林業に関する知識と経験を積ませてもらっている。林班図などと言われる林業に使う地図は、見るのが難しくて今はついて行くだけだが、山に詳しい千葉指導員に教わりながら、なんとか頑張っていきたいと話す。山林調査のほか、地元企業の現場で研修している。草刈や植林、間伐や製材の作業体験には必要な資格もあり、刈払機やチェーンソー、重機の免許まで段階的に取得していく。

冬場はやってみたかったクラフトの勉強に入る予定である。スノーボードなどを作りたい。「これらを作り最終的には店を出せるといいが、木でこういうのができることを証明したいし、それをきっかけに木を使ってもらえたらいい。」さらにスモークチップも、と語りつくせない夢が膨らむ。「協力隊は3年間で結果を出さなければならぬため、やりたいことをやっていく」と綿密な計画を語ってくれた相馬さんには目標に向かって進もうとする真面目さと芯の強さを感じた。林業への挑戦は始まったばかりだが、ぜひやりたいことに一歩一歩進んでいってほしい。

ご存知ですか? こんな情報・制度

村の情報をキャッチ! 「占冠村メール配信サービス」開始

6月に占冠村むらびと条例が施行され、村の情報をわかりやすく皆さんへ提供していくために、『メール配信サービス』を開始しました。

このサービスは、本サービスに登録した携帯電話やパソコンのメールアドレス向けに、インターネットを経由して、メッセージを送信するサービスです。

登録されると、村のイベント情報や防災情報などが受信できますので、いち早く情報をキャッチすることができます。

10月20日現在19名の方が登録されていますが、まだされていない方はぜひ登録手続きをお願いします。登録手順がわからないなど、お困りの際はお気軽に担当までご連絡ください。

1 登録



shimukappu@e.bme.jp
またはQRコードを読み込み、空メールを送信し登録手続きを行う



QRコード

2 村から情報を送信

本日〇〇が開催されます。
時間 18時から
場所 〇〇集会所

3 登録者の携帯やパソコンに情報を受信



■お問い合わせ 企画商工課企画担当 電話56-2124